



こんなことあったよ！ のしろ白神ネットワークの活動レポート

平成 25 年 5 月 29 日(水)
日吉神社の嫁見祭り 編

思い浮かべてください。緑滴る木立のなか、石畳の参道を。あでやかな花嫁行列を一目見ようと集まった見物客のどよめきと祝福の拍手を。そのただなかを夫に手をひかれ、しずしずと本殿に歩を進める新妻の姿を。…なかなかいいものではないでしょうか？今年の嫁見祭りに参加した花嫁さんは 15 組。みなさんそれぞれ美しく、愛らしい姿で沿道を沸かせておりました。

われらが上町すみれ会は、今年も杉屋台を引いての参加となりました。屋台では、ふるまいのお神酒におでん、花嫁しおりのほか、姉妹街道を締結した福島県会津若松市の物産（喜多方ラーメン・昔なつかしい豆菓子・「八重の桜」のサブレ・おきあがりこぼしなど）を販売。特に前日から上町「夢工房・咲く咲く」にて、大鍋 3 つを使って仕込んだ会員手作りのおでんは、主婦の手による家庭の味とみなさんからご好評を得て完売しました。

午後 3 時半ころからスタートした出店は、すみれ会の屋台のほか全部で 12 団体が出店。常盤ときめき隊の皆さんが販売する焼き鳥や新鮮野菜、花の苗は好評で、さらに珍しいところでは阿仁の山菜や秋田杉製のハガキなどもお客さんを集めていました。

そうそう、美味しい食べ物もたくさんありました。能代の B 級グルメ豚ナンコツ焼きに、香りも高い鶴形そば。能代山本郡内から集まったお菓子屋さん 4 店の自慢のお菓子が、ズラリとならんだ様子はなかなかの圧巻でした。

お祭りは小雨がぱらつくあいにくの天気となり、見物客の人出はいまひとつでしたが、それでも屋台や出店の店先には買い物やおしゃべりを楽しむお客さんの姿が絶えず、さらに日吉の柱に流れる奉納コンサートの華やかで懐かしいメロディが、お祭りの雰囲気さをさらに盛り上げていました。

最後になりましたが、当日に販売や会場案内、出店の呼び込みなどのお手伝いをしてくださった能代市婦人連合会の方々、そして沢山の有志のみなさんに心から感謝いたします。ありがとうございました。

文：相澤 レイ子



前日からの準備にも力がはいります(上)。スギデッキなど機材運搬は今年も幸和リースさんのご協力をいただきました(下)。



あいにくの雨模様となりましたが、薄暗い中でもあでやかな花嫁衣裳は目をひきます。



これまで最多の 12 店が軒を並べました。この季節ならではの品々は大人気でした。



好評のコンサートも 3 回目となりましたが、この日はお天気のせいか、残念ながら観客も少なめでした。